渋谷駅
中心地区
デザイン会議

『議論の中心キーワード』

Main keywords of discussion

特定区域景観形成指針

景観形成方針

1）地区ごとに培われてきた自由で多様な都市デザインを継承しつつ、活力と品格ある景観を目指す。
2）歴史観のある、変化に富んだ渋谷の谷地形により形成された多様な坂のにぎわいを活かした景観を形成する。
3）渋谷川の水と緑の軸と連携した「まちのうるおい」を感じる景観を目指す。
4）地上の歩行者を優先した、誰もが歩いて楽しい回遊空間を創る景観を目指す。
5）情報発信のまちとして世界の人々を惹きつける景観を目指す。

景観形成基準（建築物の高さ・配置・規模等）

近景

指針１　渋谷の玄関口に相応しい、様々なアクティビティが感じられる駅前の顔の形成（主に駅地区からの見え方）

指針２　渋谷らしい、エリアや沿道ごとに個性ある 街並み、多様な界わい、活気とにぎわい景観の形成

中景

指針３　周辺とも連携した緑と水が連なる景観の 形成

遠景

指針４　群としての象徴性を備えたスカイラインの形成

渋谷の地域性景観特性

渋谷駅中心地区デザイン会議
「周辺街区との連携・調整（呼応）」
■複数の計画を一体的に捉えた景観誘導
■地域の個性を生かした景観誘導

各街区共通で取り組む具体のデザインキーワード

“見る・見られる” の関係性　近景

□ 主要な広場等に面する施設部分の設え
ex. 駅街区：4F デッキ＋アーバン・コア　　道玄坂街区：中央街広場
□ アクティビティあるアーバン・コアの 設え

“連続する回遊空間”　近景

□ 複数街区を貫く連続空間におけるシークエンスの景観
ex. 渋谷ヒカリエ～駅街区～道玄坂街区（マークシティ）
の ストリート（B3F ～ 4F）
渋谷三丁目 21 地区～ＪＲ南口改札～渋谷駅桜丘口地区の ストリート (B3F-3F)

“多様性” のデザイン　中景

□ 渋谷駅街区を中心にして各々向き合うにぎわい、ファサード、アーバン・コア同士などの呼応

“緑と水を感じる” ネットワーク　中景

□ 限られた緑を有効に配置・計画し、公共空間や各建物から享受できる緑や水環境を確保する
ex. 立体的な緑（各街区中層階での緑化、壁面緑化など）

“群” としての象徴性　遠景

□ 渋谷駅街区を中心とした凸型スカイライン
□ 高層棟および低層棟による集約的な景観